熱力学メモ

NAKATA Keisuke

20240526

熱力学

アボガドロ定数 N_A

$$N_A \,[\text{mol}^{-1}] = 6.022\,140\,76 \times 10^{23}$$

 $0.012~{\rm kg}$ の炭素に含まれる炭素原子の数。 $N_A=1~{\rm [mol]}.$ $[1,~{\rm pp.1}]$

大気圧 1 [atm]

$$1\,[\mathrm{atm}] = 1.013\,25 \times 10^5\,[\mathrm{Pa}]$$

海面上で空気から受ける圧力の値。 [1, pp.1]

絶対温度 K

$$T [\mathrm{K}] = t [^{\circ}\mathrm{C}] + 273.15$$

[1, pp.10]

シャルルの法則

$$\Delta V [\mathrm{m}^3] = \Delta t [^{\circ}\mathrm{C}] \times \frac{V_{0 \circ \mathrm{C}} [\mathrm{m}^3]}{273.15}$$

$$= \Delta T [\mathrm{K}] \times \frac{V_{273.15 \mathrm{K}} [\mathrm{m}^3]}{273.15}$$

温度と体積の比例則。 $V_{0 \circ C} (= V_{273.15 \text{ K}})$ は気体の種類や圧力、モル数によるので注意。高圧または低温では分子間力や分子の大きさを無視できず、近似が悪化する。 [1, pp.10]

ボイル・シャルルの法則 (気体の状態方程式)

$$p \; [\mathrm{Pa}] \; V \; [\mathrm{m}^3] \; = n \; [\mathrm{mol}] \; RT \; [\mathrm{K}]$$

R は気体定数。シャルルの法則、ボイルの法則、ゲイ=リュサックの法則を組み合わせたもの。高圧または低温では分子間力や分子の大きさを無視できず、近似が悪化する。 [1, pp.15]

参考文献

[1] 菊川芳夫. 熱力学. 講談社基礎物理学シリーズ; 3. 講談社, 11 2010.